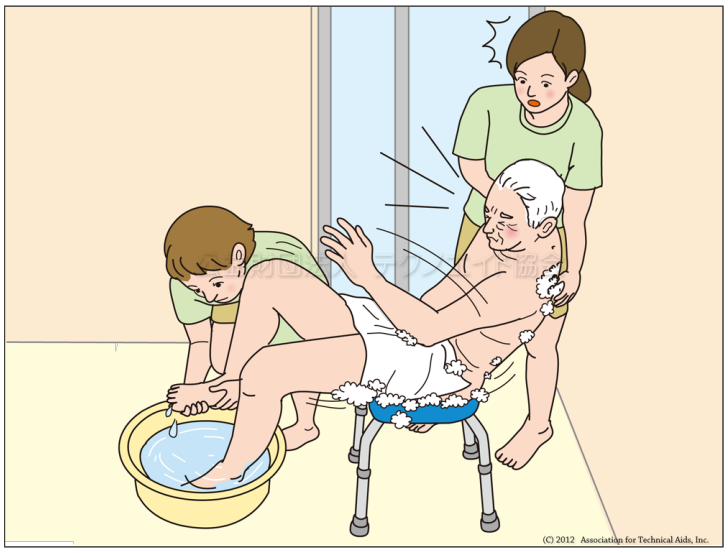
Case：98

入浴用いすに座った利用者の身体を洗う際に後方へ転倒しそうになる

場面の説明

前方からの介助で足部を洗おうと足を持ち上げてしまった



利用シーン	入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

居室での座位ではしっかり座れる人であっても、股関節の硬い方が多い高齢者では、足を持ち上げると背が後方に倒れる傾向があります。入浴時の介助方法を検討し、背もたれ付の入浴用いすを利用することで、このような危険は回避できるでしょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：介助者二人の意思確認がおろそかだった
モノ：入浴用いすに背もたれが付いていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：98

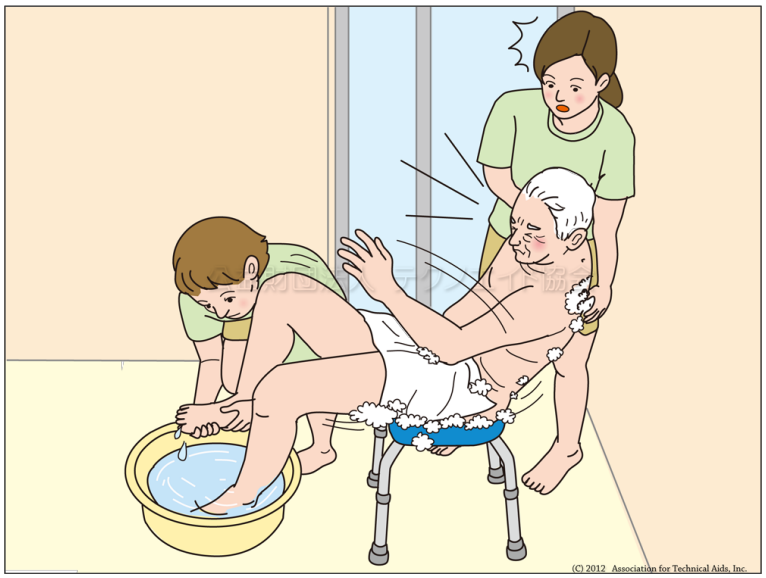
入浴用いすに座った利用者の身体を洗う際に後方へ転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

前方からの介助で足部を洗おうと足を持ち上げてしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.